



歴史対話「現在・過去・未来」

～神社、甚句、そして長瀧の森へ～ (3年生) 山瀧小学校

タイム・スリップ～



狩猟・漁業の守護を願い
建立されました。

長瀧諏訪神社



即往寺 鐘つき堂

鳥屋野瀧に霧がかかると、一本松が舟をこぐ人の灯台代わりになっていました。古くは漁場として、また、田んぼの土取りの場として、人々の暮らしを支えてきました。

水と土の芸術祭2009から「清五郎 開拓八人衆」のモニュメントとともに、市民の憩いの場になっています。

昔は農作業をする人たちのために、鐘をついて時刻を知らせる役割を担っていました。「姥ヶ山に過ぎたるもの三つあり、地藏・釣鐘・六内の嬪」と、形がよいと評されていました。



清五郎の一本松

きらっと発見

～鳥屋野瀧～

鳥屋野瀧は約190ヘクタール、都心に近接する貴重な水辺空間です。白鳥が飛来したり、春は桜が咲いたり、水生植物・野鳥・魚など、豊かな自然に囲まれています。治水上重要な役割を果たすとともに、都市公園の指定を受け、山瀧地区の象徴となっています。

～諏訪神社の他にも～

弁天の松・地藏尊

かつて舟で古町や沼垂に移動する際の目印になっていたそうです。

水車踏み記念碑

水車を使って農作業をしていました。鳥屋野瀧公園の散策ルートです。

石佛山地蔵堂

六体地藏が海難から身を守り、凶事を事前に知らせたと言われています。

三徳神社

たくさんの石碑に、これまでの歩みが細かく刻まれています。



きらっと発見

～もたぐり甚句～

ここは亀田郷……鳥屋野瀧の恵みとともに、水を克服してきた歴史があります。稲作のために田んぼへ行くにも舟で行っていましたが。藻をたぐりながらのつらい作業を楽しくしてくれたのが歌でした。こうして「藻手繰甚句」が誕生し、今なお大切に歌い継がれています。

もたぐり甚句



長瀧もたぐり甚句保存会に行くと、3年生全員で踊りを習いました。つらい時ほど、明るく楽しく踊ることの意味と意義を実感することができました。

たる太鼓



北谷内自治会の響会です。樽の音が町中に響き渡るように願いを込めて、子どもたちが自ら「ひびきかい」と命名しました。樽をたたきに来る子どもたちが生きがいになっているそうです。



自分たちの手で、地域に恩返しをすることができました。

「ながたの森を愛する会」の皆さんと一緒にチューリップの球根を植えました。みんなで力を合わせ、長瀧の森を美しくすることができて感動しています。

未来に向かって……

長瀧の森

子どもの声



球根植えて、ぼくは50個を目標にしました。そして、67個植えられたので嬉しかったです。最後には疲れたけどとても楽しかったです。球根の植え方は、スポーツ公園の人たちに教えてもらいました。植えている時に楽しいなと思いました。チューリップには色々な種類があることを知りました。春が楽しみです。家でも球根を植えてみたいです。



11月に球根を植えに行きました。まず、スコップで土を掘って、次に球根を入れてその後土をかぶせました。始めは大変だったけど、30個ぐらいうちにだんだん簡単になってきました。毎年このチューリップ植えを何人かでやるのはとても大変な作業だなと思いました。毎年、スポーツ公園に遊びに行くと、きれいに咲いています。私たちが植えたチューリップがきれいに咲いてほしいです。

～ 出会い ふれ合い かかわり愛 WE LOVE 山瀧